

サンゴ北海道(株)、金網を活かした製品で 道路防災に協力

中央アジア・キルギス共和国で ODA 案件形成のための調査を実施

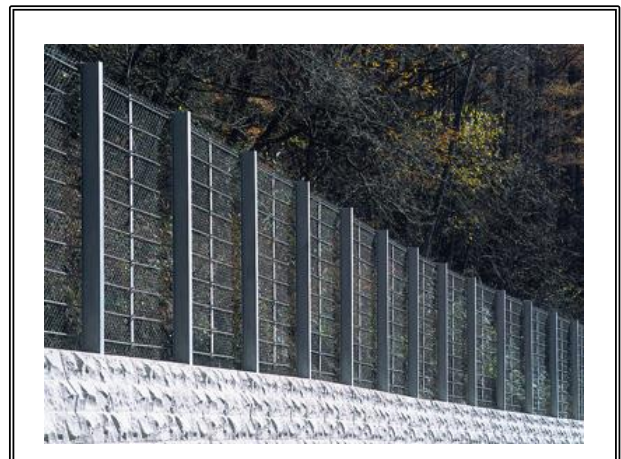
国際協力機構（JICA）は1月26日、中小企業海外展開支援事業～案件化調査～において、サンゴ北海道株式会社（北海道恵庭市／及川実 代表取締役／Tel. 0123-33-1135）が提案する「キルギス共和国 道路防災案件化調査」を採択しました。

山岳国であるキルギス共和国では、道路が重要な運輸インフラとなっていますが、地すべり、落石、斜面崩壊等が頻発し、多くの人的・物的被害が生じています。わが国のキルギスに対する開発協力として運輸インフラの整備および維持管理が重点分野となっており、JICA では道路防災対応能力強化のための技術協力プロジェクトを実施しています。

提案製品である金網を活かした落石対策製品や法面安定化関連製品で、キルギス共和国での道路防災が進むことが期待されます。



キルギスでの落石被害状況



落石防護柵の例

（写真提供：サンゴ北海道(株)）

今回の「案件化調査」では、ODA 案件の実現に向けてキルギス運輸通信省と協議を行い、現地調査を行うとともに、サンゴ北海道(株)の将来的なビジネス展開に向けての調査を行います。

本調査は、わが国の中小企業を対象とした「案件化調査」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されています。

2016 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行い、36 件が採択されました。今後、契約交渉を経て契約締結に至ったものから、順次調査を実施します。

参考： プレスリリース

URL : https://www.jica.go.jp/press/2016/20170130_01.html

【問合せ先】
JICA 北海道（札幌） 中小企業海外展開支援担当 中野 Tel : 011-866-8421 E-mail : Nakano.Satoshi@jica.go.jp